

## 松山鋼材

### 鉄骨建築用下地材

# 自動積算システム構築

## 全国初、ネットで無料提供

建材製品の各種加工や軽量ハウスなどの設計・施工などを行う松山鋼材(本社・千葉県旭市飯岡、社長・向後賢司氏)は、鉄骨造建築物に使われる胴縁

(壁材を取り付ける下地材)のインターネットを使った自動積算システムを構築し、今月26日からサービスを開始する。これまで、手計算が主で複数の概算

が存在していた胴縁の積算を、ネットを通じて無料で利用できるもので、全国で初めて。同社ではサービスの提供により企業の信頼度向上を図り、初年度で

2億円の販売増を計画している。胴縁の積算は、建築物件ごとに細かな積算が必要のため、ゼネコン、設計会社、鉄骨フ

ァリケーターなどで個別に手計算して概算でコスト見積もりをしていたケースがほとんど。同社が構築した「み

さを解消し、建築物の工期短縮や品質アップにつなげてもらうことを目的に構築したものの。

システムはコンピュータシステム開発を行うシンテック(本社・山口県熊毛郡田布施町)が開発したもの。

同社が無料配布しているCADブラウザを利用したシステムで、これをダウンロードしたのち松山鋼材のホームページに接続し、手

元にある図面を読み込むだけで簡単に積算できる。積算結果は、エクセルなどのデータに変換することもできる。利用者はこれらのサービスを全て無料で利用することができ

る。松山鋼材は、関東地区でC形鋼及び角パイプを数多く在庫し、建築関連を中心に穴あ

け、開先から塗装といった二次加工までの一貫製作納品システムを構築し、全国販売している。

### ニュース・らいんなっぴ

- 松山鋼材 [2面]  
鉄骨建築用下地材で自動積算
- 大同特殊鋼 [3面]  
ネオジウム系磁石の極小タイプ開発
- 古河スカイ小山 [4面]  
アルミ製熱交材、能力4割増強

《鉄鋼新聞社 ホームページアドレス》

<http://www.japanmetaldaily.com>

Eメール: [info@japanmetaldaily.com](mailto:info@japanmetaldaily.com)